

市民ネット21

草川 肇

合理的配慮に沿った
取り組みの充実

問 本市ではバリアフリー計画による施設整備などが十分進んでおらず、合理的配慮もまだまだ社会一般に広まっていないと感じる。障がい児・者施策の令和4年度における重点的な取り組みの方針と、合理的配慮に沿った取り組みを社会に広め充実させていく手法について、見解は

答 相談支援体制の拡充や住まいの場の整備などを着実に進めるほか、障害者の立場での気付きを庁内で共有するなど、市職員の合理的配慮に対する認識をより一層充実させ、市障害者差別解消支援地域協議会の構成団体を通じ、公共施設や民間事業者に広く合理的配慮を周知していく。



財政健全化と基金の適正管理

問 経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率を他の中核市と比較した際の本市の状況に対する自己評価と今後の方向性および財政調整基金が計画よりも増えている場合に、市独自に事業者支援や災害対策などに措置することへの見解は

答 いずれの比率も中核市平均以下であり、今後も財政規律の堅持に努める。基金残高は79億円となる見込みで、質の高い行政サービス提供のため本通常会議に11億円を取り崩す令和4年度予算案を上程した。

市役所における
デジタル人材育成

問 持ち運べる大津市役所の実現など、市役所でもデジタル化が推進される中、今後のデジタル化の急速な進展に備え、庁内の人材育成が必要と考えるが、手法について見解は

答 実務経験の積み上げを基に、庁内や国、県などによる各種研修の受講などを行い、デジタル人材の育成に努めている。今後は外部の知見を取り入れ、人材育成の仕組みや専門的研修の実施などを検討する。

その他の質問 市長の政治姿勢

新型コロナウイルス対策 教育行政 観光振興
庁舎整備 幼稚園・保育園の在り方

日本共産党大津市会議員団

杉浦 智子



ジェンダー平等の市政推進

問 ジェンダーの視点を取り入れた市政の推進がますます重要となる中、現在策定中の市男女共同参画推進計画・女性活躍推進計画で掲げる「すべての人が多様性を認め合い、尊重し合うことにより、自分らしく最大限に力を発揮でき、一人ひとりがかがやくまち」の実現を目指すに当たっての本市の現状認識は

答 令和元年度の調査では、[※]固定的性別役割分担意識に反対の割合が増えた一方、依然、約3割が賛成している。全ての人が多様な個性を認め、尊重し合い自分らしく最大限に力を発揮できるようにしていくことが重要と認識している。

新型コロナウイルス対応を踏まえた
保健所の機能強化

問 保健師など人員体制の拡充に加え、今後の感染症対策に備え、独自の検査室を設置するなど、保健所の機能強化に取り組むべきでは

答 市内の診療・検査医療機関などで検査を実施しており、独自の検査室設置は考えていないが、今後、保健師など専門職の計画的な採用に努め、感染症や災害時の健康管理などに柔軟かつ機動的に対応できるように、保健所内に地域保健推進室を新設するなど機能強化を図っていく。

温室効果ガスの削減目標

問 本市の温室効果ガス削減目標は、国に準じて世界平均より低い2013年度比の目標値となっているが、令和4年に開催予定のG7サミットで県とともに環境関連会合の誘致を目指す立場として、世界水準のさらに高い目標を目指すべきでは

答 削減目標を高く設定する方が良いと思うが、まずは国の目標に合わせ2013年度比46%削減した上で、県の目標でもある同年比50%の高みに向けた取り組みを進める。

その他の質問

憲法を生かす市政
市民の暮らし、生業を守る取り組み
安心して住み続けられるまちづくり

※固定的性別役割分担意識 「男は仕事、女は家庭」など、性別を理由にして役割を固定的に分ける考え方のこと